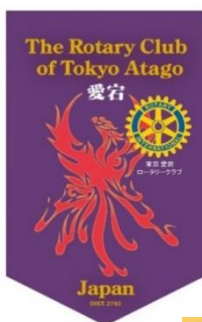


No. 5 2013/10/15

# WEEKLY REPORT 2013~2014



## 東京愛宕ロータリークラブ

会長	尾関勇	・	幹事	佐藤秀樹
副会長	石渡美奈	・	副会長	片山謙次
副会長	波多野まみ			
例会場	東京アメリカンクラブ			
例会日	毎週火曜日 8:00~			

■本日のイニシエーションスピーチ  
東京愛宕ロータリークラブ  
2013-2014年度 幹事  
佐藤 秀樹

■前回の卓話  
国際ロータリー2750地区 研修リーダー  
市川 伊三夫 様をお招きいたしました。



### ■ 10月8日 (火) 会長挨拶 会長 尾関 勇

本日は国際ロータリー2750地区 研修リーダーでいらっしゃる市川伊三夫様をお迎えしておりますが、ロータリアンとしての心構えや全般をお聞きできる機会をありがとうございます。市川さんから、色々な学びを深めていただければと思います。ロータリーに12クラブほどメークアップへ伺いましたが、それぞれの特徴があり、特に卓話の内容と他のロータリアンから受ける知識が大変勉強になりました。やはりロータリー醍醐味は、まさにそんなところにあると思った次第です。また、9月末にも行ったドイツ(唯一ロータリアンが増えている国)も独特な広がり方があり、大変有意義なメークアップでございました。また、幹事報告でもありますが、サイポールさんが紹介者なしですが、2750地区全てのクラブを見て、東京で朝活動できるクラブと、自分から入会を希望してくれました。そんな方がこれから増えるんだろうと思います。私たちはロータリアン、他と同じで、国境も性別も関係なく超我の奉仕ということで何ができるのかみんなで考えていきたいと思っています。チャーターナイトが終わっても、どんな奉仕プログラムができるのか、考えていきたいと思っています。

### ■ 10月8日 (火) の卓話 国際ロータリー2750地区 研修リーダー 市川 伊三夫 様 テーマ「一身を三世に生く」

皆さんおはようございます。素晴らしい例会に参加することができまして、大変喜んでおります。ここにおられる皆さんは、今のロータリーにいる人と比べますとお若いので、ですからこれからあなたが活躍の場があります。そして、あなた方が新しいロータリーを作っていくっていただく。私にとっては、宝物のような1日。喜んで参上いたしました。まず、出席をされていない方が1、2回連続して出席しなかった場合は、どうかそこにおられる皆さんに電話をかけて、この次待っているからねと言っていただきたい。せっかくロータリーに入っているのだから、例会だけでなく、色々な地区大会や国際大会へ参加していただきたい。全然違いますよ。先ほど会長さんが、クラブごと違うと言いましたが、全然違いますので、大変参考になると思います。

今ロータリーにとって、やる理由の一つに、ロータリーは自分のクラブが中心だと、クラブライフこそロータリーの命だという人がいます。それは大変な間違いです。その間違いがどれだけ今のロータリーを悪くしたかわかりません。ロータリーは自分を啓発する場所なんですね。この場所にいる皆さんがすぐ仲良くなってしまい、それぞれの仕事、あるいは自分たちの持っている知識や経験を通じて、それを交換することによって、啓発され、向上します。しかしそれにも限界があります。20人、30人だけです。それを外のクラブに行き、他とお付き合いし、外のいいところを入れて、さらにこのクラブをよくする、そういうのが一番大切なんです。言い換えれば、ロータリーはクラブ中心である、そのクラブは世界一のクラブにするんだと。他のクラブよりよっぽど素晴らしい、日本だけでなく、世界のクラブにも負けないんだという気概を持ってクラブ中心ということ。毎日来て食事して同じような話して、同じような席でつまらない話して帰るだけ。それがクラブ中心では絶対にはないのです。そのことを忘れないでほしいと思います。それから、私は出席と会員増強の世界委員をやっていました。アジア代表の一人でしたので、色々なクラブへ参りますが、今増えているのは、インドとドイツ。ドイツも実は低迷していた時期が長かったのです。それをある女性が色々な輪を作り、工夫をし、採択され、それが今のドイツです。少子高齢化だから、といったつまらない言い方をする人が多すぎる、全く根拠がないのです。きちっと分析せず、ムードで言っている人が多すぎます。自分の都合のいいように言っている人がいる。少なくとも、若い君たちは、変に盲信しないように。これは正しい、これは正しくない、ということをきちっと頭の中に入れる、その場がロータリーだと思ってほしいと思います。一つだけ、私の学生時代、大学の先生が最後の講義の中で30分ほどまとめをされて、残りの40分、50分を私たちに贈る言葉をおっしゃってくれました。勉強しなかった人、アルバイトをしていた人、学校に来なかった人、その送る言葉だけ書くと及第となる、そういう時代に卒業しました。その中の一人の先生で、「壁を作るな。壁は破れる。」といった方がいます。なんだろう壁ってというくらいで、皆わかっていなかった。社会へ出てみると壁というものがあるものすごく恐いものだとよくわかりました。まず第一に、あなた方風邪ひきますね。そして会社に出るとき、1週間来ないと違いがありませんか？出ていきにくいものを感じませんか。これはもろ刃の刃が。早く出ていかないと、出ていけなくなっちゃう。これは人間の本性ですから、何も恥ずかしがることにありません。そういうものを早く打ち破るには、まずあなた方が「壁」があることを覚えておいてください。その先生には大変感謝しています。そして毎日その壁は

大きくなるのです。  
 素晴らしい大学、企業を出ても、ゴールデンウィーク明けにはうつ病となり、退職していった方もいました。優秀な学生も、夏休み明けには来なくなってしまいます。これも壁です。一生懸命壁に勝つのです。自分で打ち勝つのです。  
 ロータリーはどうでしょう？行かなくて誰かに言われますか？待った自由意志でしょ。だから辞めてしまう人が多いのです。残念です。ロータリーは使い方・使用の仕方、非常に大きなプラスとなるのにそれをやらない。壁に負けて、横を向いてしまう。絶対にさせないぞという気持ちで、素晴らしい関係をロータリーの中で作ってください。増えると思います。

私はそれを期待しています。今度、グアムへ行かれることはいいことですね。いつかは全員で行ってください。あと3年か4年後に、地区大会があります。パラオやサイパンといった、南の島での奉仕活動は日本とはまるっきり異なります。

是非皆さんは、大きなことを考える人間になってください。応援しています。そして、そういう考えを育てていってください。ビルトアップしていくのには仲間がいる。夢を話す。その話す夢を更に大きく膨らませます。それがロータリーだと思います。頑張ってください。



～今後の予定～

●10/22 (火) チャーターナイト 19:00～  
 最後まで気持ちを引き締めて当日を迎えましょう。

●10/29 (火) 卓話

岡島 悦子様 (株式会社プロノバ代表取締役、グロービス経営大学院教授)

◆◆ 前回のニコニコBOX ◆◆ ¥26,000  
 累計総額 ¥414,000

- ・チャーターナイトが近づいてきましたね。ワクワクします。(猿田)
  - ・いよいよチャーターナイトも近づいてきましたね、みなさん頑張りましょう！(佐藤ますみ)
  - ・市川様、本日は卓話を賜り誠にありがとうございます。そして、いよいよチャーターナイトまで2週間となりました。個々から集中して参ります。皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます！！(石渡)
  - ・おはよう護持余す。チャーターナイトに向けて頑張りましょう。本日は市川様のお話、楽しみに参りました。(若山)
  - ・市川様、本日はご多用の中、私共のために卓話ありがとうございます。(尾関)
  - ・市川様、本日の卓話楽しみにしております。(柳)
  - ・本日の市川様の卓話を大変楽しみにしておりました。ありがとうございます！！(山田)
  - ・ニコニコ(ヘマント)
  - ・初メーカーアップ。宜しくお願い致します。(東京西ロータリークラブ 岩城義親さま)
- そして、市川伊三夫さまにもニコニコ頂戴いたしました。ありがとうございました。

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL: 03-3568-3827 / FAX: 03-3568-3829 / E-mail: office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

